

脈々 ^{スピリッツ} 高蔵 魂

(創立者 市邨芳樹のことば)

「一身を託せ」

知りたいことを知り、知りたくないことを知ろうとしないのが脳のクセと言える。だから、見ていても見えず、聞こえていても聞こえずという状態に陥る。

それまでの誤解や偏見が氷解し、ものごとの真実の姿や意味が胸にありありとした時、人は全身を貫く戦慄と深い感動を味わう。

それは、自分が新たな自分に生まれ変わった瞬間である。

全き人としての発達は、勉めて怠らず、養ふに其の道を以てすれば、終生止むことなし。

(「藪椿」 6 - 6)